

No.4

発行/奈良市議会
編集/奈良市議会だより
編集委員

奈良市議会だより



〒630 奈良市二条大路南1-11
奈良市議会事務局
☎(0742) 34-4734

黒字2億2千5百万円 歳入歳出は前年比増

昭和五十九年度の一般会計及び特別会計の総計決算額は、歳入八百四億八千九百五十一万五千円、歳出八百億五千三百七十一万九千円、各会計間の繰り入れ繰り出しに
れ繰り出しに
よる重複額二
十一億五千四
百八十二万四
千円を差引い
た純計決算額
では、歳入七
百八十三億三
千四百六十九
万二千円、歳
出七百七十八
億九千八百八
十九万五千円
で前年度に比
べると歳入で
三千四百九十
万三千円、歳出で三億九千二
百六十万円いずれも増加とな
っております。

59年度決算の状況 (単位:千円)

区分	歳入	歳出	形式収支	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支
一般会計	57,395,130	56,244,111	1,151,019	207,358	943,661
特別会計	23,094,385	23,809,608	△715,223	2,900	△718,123
合計	80,489,515	80,053,719	435,796	210,258	225,538

五十九年度決算認定

昭和五十九年度の一般会計及び特別会計の総計決算額は、歳入八百四億八千九百五十一万五千円、歳出八百億五千三百七十一万九千円、各会計間の繰り入れ繰り出しに
れ繰り出しに
よる重複額二
十一億五千四
百八十二万四
千円を差引い
た純計決算額
では、歳入七
百八十三億三
千四百六十九
万二千円、歳
出七百七十八
億九千八百八
十九万五千円
で前年度に比
べると歳入で
三千四百九十
万三千円、歳出で三億九千二
百六十万円いずれも増加とな
っております。

十二月定例会

六十一年十二月定例会は、十二月九日から二十三日までの十五日間の会期で開きました。
この定例会では、市長提出の昭和五十九年度奈良市歳入歳出決算の認定についての報告一件、図書館設置条例の一部改正など議案十八件と議員提案による非核平和都市宣言など決議二件、意見書三件を審議し、いずれも原案どおり認定、承認、可決、同意しました。

非核平和都市宣言を決議

定例会初日の九日は、昭和五十九年度歳入歳出決算の認定についての報告一件と議案七件を上程し、提案説明を受けました。
十二日から十四日までの三日間は、質疑、一般質問を行い質問終了後、先に上程された議案七件を原案どおり可決、承認し報告案件である五十九年度決算認定については、十四名で構成する決算特別委員会を設置して審査を付託しました。
十六日及び十八日から二十

日までの四日間は、決算特別委員会の審査を行い二十一日には総務財政委員会が奈良市行政改革大綱案について市長より報告がありました。
二十三日の本会議最終日は、特別委員会で審査した五十九年度の決算を認定した後、同日追加提案された人事院勧告に基づく市職員の給与条例改定、補正予算等十一議案を原案どおり可決、同意し引続き議員から提案の二件の決議、三件の意見書をいずれも原案どおり可決して閉会しました。

八千円を控除した実質収支は二億二千五百五十三万八千円
の黒字となっております。
なお一般会計実質収支九億

四千三百六十六万二千円のうち五億円は財政調整基金に繰り入れをされています。



非核平和都市宣言

世界諸国民の恒久平和の願いをよそに、核軍備の拡張は増強の一途をたどり、世界の平和や人類の生存に深刻な脅威を与えています。今や核兵器の全面禁止は、全人類の死活にかかわる最も重要な緊急な国際的課題です。
国際文化観光都市・奈良に住む我々は、この緑豊かな美しい自然や貴重な歴史的文化遺産を守り、次代に引き継ぐためにも、この地球上に再び「ヒロシマ・ナガサキ」の惨禍を繰り返さず、世界の人々に強く訴え、ここに非核平和都市を宣言します。そして他の自治体と協力して非核三原則の堅持並びにあらゆる核兵器の全面禁止と廃絶を求め、恒久平和を願う全世界の人々とともにその実現に努めるものであります。
以上、決議します。
昭和六十一年十二月二十三日
奈良市議会

請願

- 今定例会に提出された請願は三件で次のとおりです。
- ▽パチンコ店建設の反対及びパチンコ店建設の規制等の条例制定に関する請願書
請願者 辻山清氏外四八一名 (企画建設委員会付託)
- ▽良好な環境を求め、青少年の非行防止のための青少年保護育成条例制定に関する請願書
請願者 右同 (教育厚生委員会付託)
- 右二件十二月二十五日請願者より取り下げられました。
- ▽神功四丁目のアパート建設計画反対並びに奈良市建築協定条例の制定を求める請願書
請願者 神功四・五丁目自治会会長 酒井不二夫氏外二七名 (企画建設委員会付託)

陳情

- 「取り下げ」
六十一年十二月九日承認
- ▽大規模マンション建設反対に関する請願書
(六月定例会提出分)
- ▽三穂山田地区マンション建設反対に関する請願書
(九月定例会提出分)
- ▽朱雀四丁目地内マンション建設計画阻止に関する請願書
(九月定例会提出分)
- ▽選挙広報の発行についての市条例の制定に関する陳情書
陳情者 日本労働党委員長 辻山清氏
- ▽投票区・投票所の開設・増設に関する陳情書
陳情者 右同
- ▽そごう進出反対等に関する陳情書
陳情者 右同
- ▽国旗に関する国の公式制度化及び祝祭日の国旗掲揚についての決議を求める陳情書
陳情者 右同

請願・陳情のしかた
市議会への請願は、文書で紹介議員を経て議長あて提出してください。
陳情は、紹介議員の必要はありません。

決議・意見書

- ▽非核平和都市宣言 (別掲)
- ▽シートベルト及びヘルメット着用に関する決議
- ▽国保財政の危機打開に関する意見書
- ▽流水占用料の徴収反対に関する意見書
- ▽水源税の創設反対に関する意見書

- 書
陳情者 国旗掲揚推進運動本部代表 辻山清氏
- ▽奈良市内地元業者育成に関する陳情書
陳情者 井岡産業 井岡卓朗氏 外六名
- ▽保育所措置費国庫負担率削減及び保育料の国徴収基準額の引き上げに反対する意見書提出に関する陳情書
陳情者 鶴舞保育所父母の会 高井靖之氏外六名
- ▽コミュニティー広場(地域福祉広場)設置に関する陳情書
陳情者 大安寺西地区自治連合会会長 山田真治氏外一名
- ▽都市計画道路あやめ池登美ヶ丘線道路計画の白紙撤回を求める陳情書
陳情者 佐川芳孝氏外六四一名

答弁

現在、九十周年事業としてシルクロード博が計画されているのか。

市長就任当初、二十一世紀を展望して見直すといった基本計画の現状はどうなっているのか。

見直し作業で遅延

90周年事業構想

基本計画

十二月十二、十三、十四日の本会議で八名の議員が質問に立ち、行財政、基本計画、環境、教育、都市再開発、近郊農業、市史の各問題や高齢者と幼児に対する福祉施策のほか、市制九十周年事業の

本会議

市制九十周年の行政課題

シルクロード博 再開発、行革など審議

シルクロード博覧会計画について各議員から真剣な質問が流出しました。以下は本会議における各議員の質問と西田市長ほか関係理事者の答弁の要旨です。

いるが、それ以外の記念事業には、どんな構想を持っているのか。

答 基本計画は現在も見直し中で若干遅れている。

九十周年の記念事業は、今のところシルクロード博を中心として考えている。九十年を次の市制百年の出発点として検討する。

問 基本計画の見直しが遅れているのはただけでない。九十周年を百周年の出発点にするというが、それならば、現在、追いこんでやる必要な行政課題を九十周年の記念事業計画に盛りこむべきではないのか。

答 シルクロード博は奈良の文化、産業の発展につながるものにしたいためである。

これ以外の九十周年に向けての行政課題は国鉄奈良駅と近鉄西大寺駅周辺の再開発を軌道に乗せることである。

硬直財政懸念

問 市の普通会計の決算状況を見みると五十九年度の経常収支比率は七九・九％であり、地方債の現在高は前年より一〇・七％増の四百八十二億五千四百万円、公債費比率も一五％を超えている。都市再開発という大事業を抱えている市として将来、一層の財政の硬直化を来さないか。

答 過去五年間、義務的経費の伸び率は平均九％だが、市税が平均値で一三％の伸びなので財政構造上は心配ないと考えている。

問 懸案の町名の整理について、市内でも従来の通称町名、行政町名の併用は誤りであると認めるところだ。これも九十周年にメドをつける事業とすべきではないか。

答 通称町名は昨年からはじめに、廃止は六十二、三年をメドにしたいと考えている。

行財政

交通・輸送態勢に問題

600万人の受け入れ 問 シルクロード博覧会は平城宮跡を会場予定地として入場者の目標を六百万人としているが、受け入れる態勢として、臨時駅をはじめ駐車場、道路整備、下水、ごみ処理などの問題に、どのように対処するのか。

また、このイベントの成功には市民の協力と参加が不可欠だが、市民の間では、いまひとつこの催し事に親近感が乏しいと感じるがどうか。

答 来場者の輸送について臨時駅の設置、駐車場などについて関係機関と検討していきたい。

平城宮跡を会場とすること

ならシルクロード博

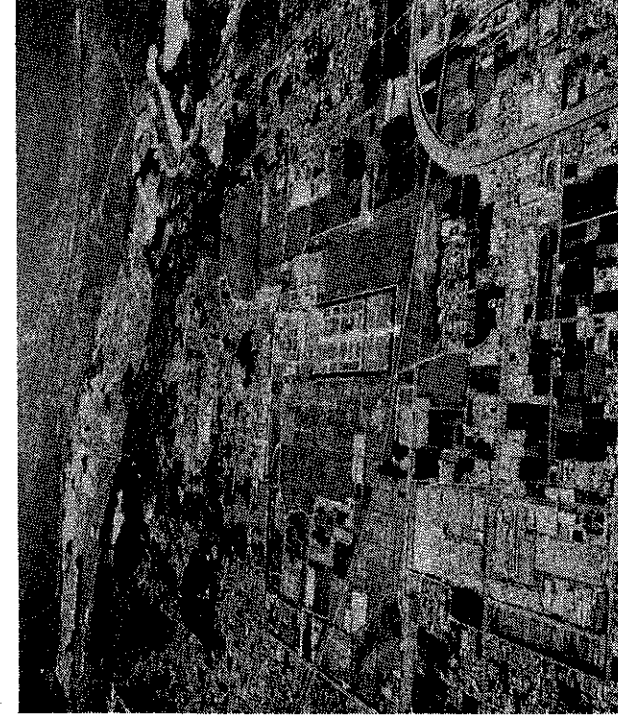
問 今回の改定は国の考えを全国の自治体に押しつけるものである。こうした国の権

改定給料表については組合と協議中だが、改定によって下回ることはない。

問 国の給与制度改定で地方公団体も国に準ずるよう指導され、本市では従来の七等級制から十一等級制に細分化される。

問 上程されている奈良市の職員給与の改定表をみると十一等級制に替えられる。これによると現在課長補佐と係長資格者の賃下げになりはしないか。

職員給与改定



会場予定地の平城宮跡

については、文化庁と基本的には合意に達している。シルクロード博協会では、テーマが決まり次第、シンボルマークの製作にかかり市民意識の高揚に努めていきたい。

問 市長は市独自の行革大綱を策定するため、市民による行革懇話会を設置した。しかし短期間で果して十分な声が届いたか、懇話会はどんな提言をしたのか。

行革提言尊重

ムダのない行政を

答 懇話会の提言は単に、行財政の縮減を求めるだけでなく、むだのない行政で住民福祉の向上と活力ある町づくりを第一義としている。この提言を尊重して複雑化する行政需要に対処しながら大綱をつくる。

朝鮮にも協力依頼を

問 今回の事業がシルクロード沿線諸国の学術文化とその交流の歴史とされているが、西域文化は朝鮮半島を経た国際性が日本に伝来した部分

も大きい。こうした歴史的事実からこのイベントには朝鮮民主主義人民共和国にも協力を要請する必要はないか。

答 朝鮮半島の文化はシルクロードと切り離せない。このためにも北朝鮮に残っている文物の出展についても調査をしてもらっている。

すでに市内にある朝鮮総連の代表とも話し合いをしているので、リストが出来れば手続きをとりたい。

なお、協力依頼のため北朝鮮への訪問はシルクロード博協会の関係もあり知事が行かれるのか、私が帯同して行くか等今後検討していきたい。

出品交渉の状況

問 博覧会への出品交渉は現在、シリアと中国の西安市に対して進められているが、

これ以外の関係二十数カ国への交渉経過はどうか。

答 すでにシリア沖の沈船からの遺品の出展は確定した。西安市には希望品目をあげて要請したが、中国では西安市と中国政府関係機関との関連があり手続きが複雑である。しかし感懐としては出展の可能性は十分にあると思う。

他の二十数カ国については協会が具体的な品目を決めたりえて交渉する。

市政や議会に対する皆さんのご批判、ご意見をお待ちしております。はがきか封書でお寄せください。

〒600 奈良市二条大路南 11-11 奈良市議会事務局調査課



高齢者向き住宅づくり

問 建設省は、来年度から高齢者向けの住宅づくりを計画している。これについて市の計画を聞きたい。

答 国は六十一年度から市

町村を単位に高齢者の住宅事情、公園、医療機関などの関連施設の整備状況を調査したりえて、その種類、戸数、位置などを具体的に決定し、六十二年度以降から建設しようとするものである。市では六十一年度から策定に当たり建設省に申請、採択されるように努力したい。

を飲ませているのが現状だ。全保育所で実施できないか。 答 市では現在、生牛乳と脱脂粉乳(スキムミルク)を併用している。どちらも栄養価には長短があるので併用は栄養の上からも意味がある。市としては、厚生省通達に基づいて今後も併用を続けていく方針である。

老、幼福祉

保育園児に生牛乳

問 公立の保育所では三歳児以上に週一回だけ生牛乳を、その他の日は脱脂粉乳を与えている。民間保育所では生牛乳だけ

近郊農業

積極的な消費市場調査

問 市は自作農家の経済的基盤確保のための適正な耕作規模を把握して有効に利用しようという意向をもっているか。

答 自作農の経営規模の関係についての対応は今のところ主体的な考えは持っていない。

問 農政懇話会では、ひとつの課題を俎上にしての研究とか、農村に提起されている諸問題の検討をしているのか。さらに農政担当者として大阪、京都の市場での農産物の需要やシニアの調査、研究

による近郊農業の経営の指針を懇話会にも諮られると思うが具体的に示してほしい。

答 農政懇話会では多くの悩みが語り合われ、自助努力されている。いろいろの意見

東部、南部開発と振興

問 市内の農業分布では、東部と南部を中心に中、西部の市街地にも広がっているが急速な都市化で多くの問題がある。東部、南部など農業地区の開発と振興にはどのような具体策を持っているのか。

答 近郊農業の特性を生かした新しい発展を考え、後継者の育成と農協との協同による付加価値の高い農業の実現を目指したい。農政懇話会で現況や意見を聞き研究、育成を図っていく。

農業経営の指針つくれ

から何かをつかみたいという出発点になっている。指摘された点については模索している状態である。今後は各方面の意見を拝聴して農政に反映させていきたい。

質問と

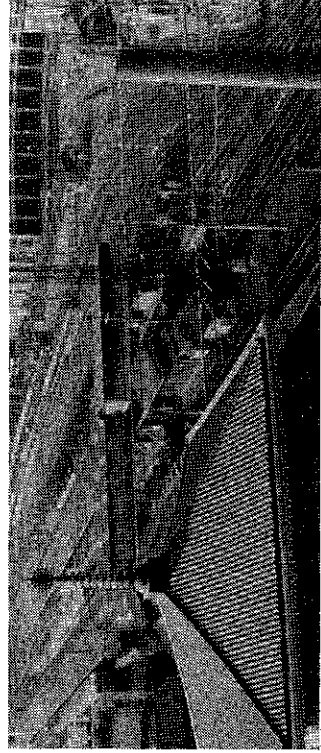
多目的ホール、歩行者優先道路 国鉄奈良駅周辺

問 国鉄奈良駅西地区での多目的ホールと歩行者優先のコミュニティ道路の計画について説明されたい。

答 国鉄奈良駅前と周辺の再開発は建設省の新都市拠点整備事業の適用をうけ、駅周辺二十二を段階的に整備をしていくもの。

多目的ホールは競技のほか展示や演奏会などができるよう小型の大阪城ホールのようなものを考えている。

コミュニティ道路は現在の三条通りを西へ延長し市民が安心して買物ができる道として商店街が活性化される起爆剤にしたい。



再開される国鉄奈良駅周辺

立ち退き人の権利保全

問 国鉄奈良駅や近鉄大寺駅周辺の都市再開発事業に際し、区画整理や再開発事業によって借家、借地者、また土地所有者の権利をどのような形で保全するのか。

答 区画整理事業では土地所有者には換地計画で、また再開発事業では、立体的なビル化によりその建物の床面積返還で、いずれも権利者を主体として保全する。また借家権者には事業内容の理解と協力が必要なので具体的な対応策を考えている。

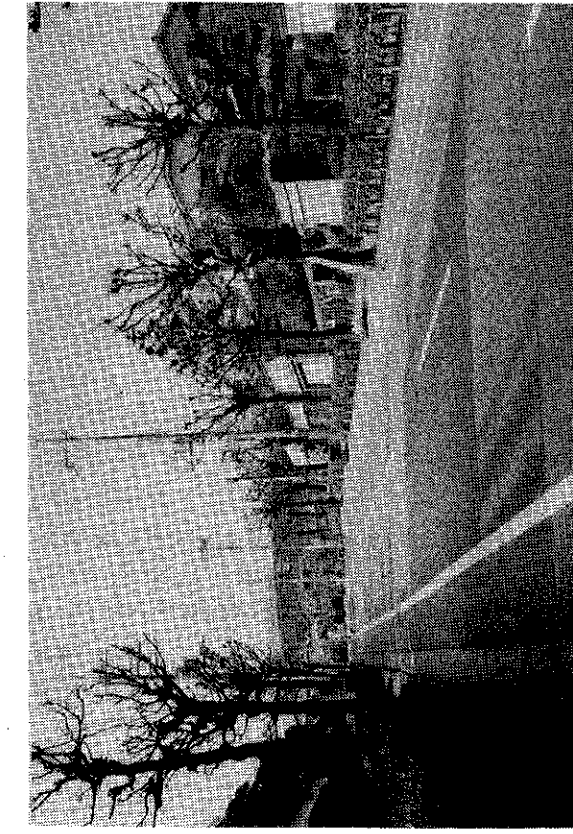
☆ ☆

教育

問 市内の中学生徒指導グループが行った「いじめ」のアンケート調査によると男子生徒の四七・七％は「先生に申し出ても解決しない」といっている。しかし先生に申し出て、よくしてくれるのなら申し出る」と答えた生徒は男子で五七・一％、女子で五九・一％もあった。

問 市教委としてこの実態をどのように分析し対処するか。

答 教師の生徒に対する信頼感や力量不足からくる問題である。生徒指導研修会を拡充しカウンセリングのあり方などの研修を行っている。



富雄地区の街路樹 (鳥見町入口から阪奈道路(富雄線)に通ずる道路)

環境

歩道隆起や交通事故

問 二十一世紀を目指す緑の町づくりのひとつとして市制九十周年を機会に市のシンボルとなる木、花、鳥を制定する考えはないか。

現在、街路樹は成長に伴い根が張って歩道が隆起して危険になったり、信号が見にくくなって枝を落され景観が損なわれている箇所がある。街路樹の種類の見直しや維持、管理に対策があるのか。

答 市章は八重桜だが、県がすでに杉、コマドリ、八重桜をシンボルとして制定している。市としても市民の意見を集めて制定を進めていきたい。

街路樹は種類によっては根が太くなり歩道の路面を破損

街路樹の管理再検討

したり民家にはみ出すとの苦情をうけている。緑を豊かにするために極端なせん定はしないが交差点で信号識別の妨げになるものには枝切りをしている。開発以前に植樹したうちで問題なのは学園前北地区のカロリナポプラと富雄地区のサワグルミで、とくに路面の破壊がひどい。今後は街路、公園の木は自然に管理できるものにした。

駐車場建設 地元で疑義

問 八条町駐車場の建設には市が一平方メートルの用地を四千万円で買収したが、地元の人たちの間で疑問が起こっている。用地購入から建

20数年間、編さん作業進まず 原因究明、編さん作業進まず 原因究明、早急な対策を

開設当初から五年間は市長部の所管で、編集事務はスム

設の経過を聞きたい。

問 地元から十月一日に出

市史刊行

問 奈良市史の刊行事業は二十数年の歳月を費しているが、全十五巻のうち現在、九巻が出版されたものの、あと

は未刊である。

問 今遅延の原因についての説明があったがこれについてどのように考えているのか。

答 長い年月を費して市史が、また六巻未刊の状態なのは申し訳のないことだ。教委の事務局を含めて、われわれ職員の怠慢と努力の不足を十分に自覚している。

された「要望書」によると、駐車場の建設は町住民の総意でないとし、すべての町民が利用できる駐車場の設置を要望するとの内容になっている。

答 同町では最初、三方所に駐車場を作ってもらいたいとの要望があった。今回買収した用地はそのうちの二カ所である。県の補助認承の関係から三方所の用地を一カ所に絞ったのが経緯である。しかし調査の必要があると思うので調べる。

十五年から市教委の所管に移されて以来、委員の先生方と事務局側との事務連絡や執筆打ち合せなどの委員会は以前のように活発に行われなくなった。また、給与の問題でも大学を専攻した若い嘱託は生活が維持できないとの理由で、仕事になれたところに辞めていく。市史の原稿料が民間に比べて低い点と歴史ブームで先生方が他の仕事に忙しいことも原因のひとつと思われる。

問 今遅延の原因についての説明があったがこれについてどのように考えているのか。

答 長い年月を費して市史が、また六巻未刊の状態なのは申し訳のないことだ。教委の事務局を含めて、われわれ職員の怠慢と努力の不足を十分に自覚している。

執筆される先生の中には、社会的地位が変わったり、多忙や個人的な理由もあるので編集委員の再編成が必要と考えている。早急に専門委員会を開いて問題を協議したい。

決算特別委員会の審査経過

昭和五十九年度一般会計外十四の特別会計決算を審査する決算特別委員会は、延四日間慎重審査した結果いずれも認定すべきものとなりました。

委員会の審査経過、結果については、二十三日再開の本会議で委員長より報告されました。

以下は委員会審査の主な内容です。

今後の措置はどうか。

答 再三相手業者とも協議し努力してきたが結果的に納付されなかったため、本年三月に契約を解除した。

未収金については、相手方より早期に具体的な支払い計画を示すという意向も聞いていたので、徴収に努力するとともに強い決意で対処したい。

未収金年々増加

問 公営住宅使用料の収入未済額及び滞納件数が年々増加しているがどのように対処しているのか。

答 長期滞り滞り納者については訴訟も含め現在顧問弁護士とも協議しており、今後も徴収に努力してまいりたい。

問 清掃工場から排出される金属スクラップの売却代金二千九十四万円が未収となっている。未収となった時なぜ契約解除をしなかったのか。

問 起債残高と公債費比率が年々漸増しているが、財政硬直化の現れではないか。

答 奈良市の場合、市税の収入も増えており、後年度償還に困まるということはないと考えている。

自治会への交付金

問 自治会に対する市の交付金支出の目的及び内容は、また、自治会未加入者に市民だよりが配布されなかったことがあるがその対応は。

答 単位自治会は、市民だよりの配布をはじめ、市の末端行政に協力願っている。地区自治連合会は、単位自治会相互の連絡調整を図り、市政に協力願うほか自主的な諸活動を行い、また、自治連合会は、全域の自治会を統括し、その連絡調整を目的に運営されており、その経費の一部として助成をしている。

問 公営住宅使用料の収入未済額及び滞納件数が年々増加しているがどのように対処しているのか。

答 長期滞り滞り納者については訴訟も含め現在顧問弁護士とも協議しており、今後も徴収に努力してまいりたい。

問 清掃工場から排出される金属スクラップの売却代金二千九十四万円が未収となっている。未収となった時なぜ契約解除をしなかったのか。

答 再三相手業者とも協議し努力してきたが結果的に納付されなかったため、本年三月に契約を解除した。

未収金については、相手方より早期に具体的な支払い計画を示すという意向も聞いていたので、徴収に努力するとともに強い決意で対処したい。

公金処理の妥当性

問 ごみ焼却施設建設工事に関し、百条調査で指摘されたことなどをどのように受けとめているのか。また、炉本体のレンガ積み工事は適正に精算されているのか。

答 各業者が、仕様書、契約書どおり行っているかを調査し、強い行政指導で臨みたい。

問 古市小集落地区改良事業が全く進んでいないがその見通しはどうか。

答 現在まで対象戸数のうち八九%を回り、六八%の同意を得ている。地域改善対策特別措置法の期限切れも迫まり、事業費も多額にのぼる中で、建設者とも十分協議し慎重にやりたい。



問 日赤社資について、募集した社資の一部が事務費として還元されるため、できるだけ多くの社資を集めようとする傾向にあり好ましくなく、今回の措置については、補助対象事業の範囲中で、あくまでも設計変更として処理した。

委託業者の契約

問 委託により配置されている学校用務員に、業者負担の清掃器材、被服等が契約書どおり支給されていない。

答 各業者が、仕様書、契約書どおり行っているかを調査し、強い行政指導で臨みたい。

地区改良事業

問 古市小集落地区改良事業が全く進んでいないがその見通しはどうか。

答 現在まで対象戸数のうち八九%を回り、六八%の同意を得ている。地域改善対策特別措置法の期限切れも迫まり、事業費も多額にのぼる中で、建設者とも十分協議し慎重にやりたい。

電示式案内板と明るい商店街

問 本市の商店街は午後八時以降閉店するため暗いイメージを観光客に与えている。この対策は、また、電示式観光案内板を設置する考えはないか。

答 夜遅くまでの営業については従業員への雇用条件等の問題もあるが、観光都市奈良にふさわしい商店街として関係機関と話し合いをしたい。

問 電示式観光案内板について検討したい。

答 夜遅くまでの営業については従業員への雇用条件等の問題もあるが、観光都市奈良にふさわしい商店街として関係機関と話し合いをしたい。

日赤社資募集

問 日赤社資について、募集した社資の一部が事務費として還元されるため、できるだけ多くの社資を集めようとする傾向にあり好ましくなく、今回の措置については、補助対象事業の範囲中で、あくまでも設計変更として処理した。

答 社資については全戸を対象としてその募集を自治会

対象としてその募集を自治会

にお願いし、三十七地区で総額千二百八十三万六千七百三十九円を奈良県支部へ納入されている。

下請け工事の問題

問 従業員や機械を持たない業者が、市の工事を受注し、一定率のピンハネをしてすべて下請けに出しているという話を聞くが、指名願いの際実態調査をしているのか。

答 指名願いは約十二〜三百件あり書類審査だけであるが一括下請けの問題については調査をする。

道路台帳の整備

問 登記が民有地のままになっている市道の権利関係の調査及び対処方針は。

答 現在、道路台帳整備の中で権利関係についての調査も行っており、全体を把握した中で対応したい。

母子住宅条例改正

問 公営住宅法では居住要件を定めていないのに、市の母子住宅条例ではなせ定めているのか。また、所得のない人は入居できないのか。

答 居住要件は法と同じ扱いが妥当と考えるので改正すべく三月議会で諮る。

入居者の収入については八万七千円以下の収入のあるものとなっているが、最低限は定めていない。

問 調整区域内、同和地区内の下水道整備方針は。

答 公共下水道に包含されない地域については、六十年度に調査を行い、公共下水道の編入に力を入れる。その扱

調整区域の下水道

問 調整区域内、同和地区内の下水道整備方針は。

答 公共下水道に包含されない地域については、六十年度に調査を行い、公共下水道の編入に力を入れる。その扱

調整区域の下水道

問 調整区域内、同和地区内の下水道整備方針は。

答 公共下水道に包含されない地域については、六十年度に調査を行い、公共下水道の編入に力を入れる。その扱

いが難しい部分については特定環境保全公共下水道の対策も含め検討している。

決算特別委員

- 委員長 吉田文彦
- 副委員長 今西五郎
- 委員 松田文彦
- 浅川中石
- 猪俣政晴
- 岡井隆之
- 岡田三郎
- 村田博之
- 井重信
- 川井健三

『市政会結成』

昭和六十年十一月十四日付で『市政会』が結成されました。構成議員は、米澤保(旧政和会) 吉田文彦(旧政和会) 山本清(旧交政会)の三議員です。これに伴って役員構成が次の様に変更になりました。

『議会運営委員会』

- 交政会(新) 廣岡宇三郎
- (旧) 山本清
- 市政会(新) 米澤保
- 【市議会だより編集委員会】
- 市政会(新) 山本清

▽昭和六十年一般会計、特別会計、公営企業会計補正予算
人事院勧告に基づく給与改定に伴う補正予算を含む総額九億三千三百四十七万三千円の補正

▽奈良市特別会計条例の一部改正及び予算の計上
奈良北地区土地画整理事業

その他

▽奈良市火災予防条例の一部改正について
地下工作物の火災に対する安全対策を推進するための所要の規定の整備

▽大和都市計画事業(奈良国際文化観光都市建設事業)奈良北地区土地画整理事業施行に関する条例の制定について

▽公平委員会の委員の選任に
富和宗一氏の選任

議会を傍聴してください

議会の本会議は、公開が原則です。ただし、傍聴できません。市民のみならずの生活に直結した重要な問題も一度本会議を傍聴していただく。本会議は年4回(3月・9月・12月)開催されます。傍聴に関する日程、手続きは議会事務局電34-4734へお問い合わせください。

『現代財政と地方の役割』

市議の研修会

昭和六十年第一回議員研修会は十一月十四日、講師に大阪府立大学経済学部教授大野吉輝先生を招き、多数の議員、理事者の出席のもとに開催しました。

『現代財政の機能と地方団

『現代財政の機能と地方団

『現代財政の機能と地方団

体の役割」と題した財政学の権威、大野先生の講演は、地方財政改革によりますます厳しさが増す今後の財政運営に大いに参考になるものでした。

議会日誌

- ☆ 九月 21日 幹事長会
- ☆ 十月 3日 議会だより編集委員会
- 7日 旧庁舎跡地利用特別委員会横浜市へ行政視察
- 8日 教育厚生委員会
- 15日 議会だより編集委員会
- ☆ 十一月 1日 旧庁舎跡地利用特別委員会
- 議会だより第三号発行
- 11日 企画建設委員会
- 13日 教育厚生委員会
- 14日 議員研修会
- 29日 経済水道委員会
- ☆ 十二月 2日 提出案件内示会
- 4日 総務財政委員会
- 5日 幹事長会
- 議会運営委員会